

「ネットでも 相手はリアル 思いやり」

～越前町立宮崎中学校が「総務省北陸総合通信局長賞」を受賞～

総務省北陸総合通信局（局長 三田 一博）は令和3年6月18日（金）、福井県の越前町立宮崎中学校において2021年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」の「総務省北陸総合通信局長賞」を受賞した同校に表彰状と副賞を授与しました。

表彰状等の授与は、太田秀一校長の立会いのもと校長室で行われました。同校の生徒を代表して、昨年度後期の生徒会長だった高原沙耶さん（3年生）は「昨年、特にSNSのルール作りに力を入れてやってきたので、このような賞をもらえて嬉しい」と、現生徒会長の木下昂さん（3年生）は「生徒会長として嬉しく、また誇りに思う」とそれぞれコメントしました。

授与後、高原さんは、安心安全にインターネットを利用するため、同校の昨年度の取り組みを披露。生徒会が策定したルールでは、従来テレビとゲームが主でしたが、昨年度、スマートフォンやSNS等の使用実態を調査した結果から、スマートフォンとSNSも新たに加えたということです。

受賞作品は、学校部門で応募された「ネットでも 相手はリアル 思いやり」です。

同作品は、北陸総合通信局のホームページや、広報・啓発ポスターなどにより、今後各地で実施される情報通信の安心安全な利用に係る啓発事業・行事等で幅広く活用されます。



表彰状を受け取る高原さん（左）



副賞を受け取る木下さん（左）



左から三田局長、木下さん、高原さん、太田校長